

平成29年度のごみ処理実施計画と実績

【ごみ処理実施計画】（一部抜粋）

1 ごみの排出規制、再資源化計画

(1) 排出抑制の方法

- ア 家庭系ごみの一部有料化に伴うごみの排出抑制の推進
- イ 生ごみ処理器の購入費を補助し、生ごみ処理器の普及による生ごみの減量促進
- ウ 生ごみの水切りの励行
- エ 枝葉・草の自家処理の励行
- オ 事業用大規模建築物所有者への減量計画書等の提出義務付け等による事業系ごみの排出抑制促進
- カ マイバッグ運動等の推進
- キ 食品ロスの削減の促進
- ク 町内会等でのごみ減量・分別説明会、市政だよりや広報誌等によるごみの減量とリサイクルを進める意識の醸成と啓発

(2) 再資源化の方法

- ア 生ごみを週2回通年収集(生ごみバイオガス発電センターで有効活用)
- イ びん・缶・ペットボトルを週1回通年収集
- ウ 古紙(新聞、雑誌・チラシ、段ボール)を月2回通年収集
- エ 有害危険物(スプレー缶・カセットボンベ等)を月2回通年収集
- オ プラスチック容器包装材を週1回通年収集
- カ 枝葉・草を通年収集(1・2月は休み)し、培養土や有機肥料の原料とするほか、発電用燃料として利用
- キ 古着・古布を月2回通年収集(1～3月は休み)
- ク 使用済み天ぷら油を通年回収(拠点回収し再使用団体へ売却)
- ケ 資源物拠点回収の実施(びん・缶・ペットボトル、古紙、使用済み天ぷら油、リユースびん、古着・古布、食器類、小型家電、靴、かばん・ベルト、ミックスペーパー)
常設型8箇所：毎週土・日曜日開催、サテライト型5箇所：年2～4回開催
- コ 粗大ごみを随時戸別収集(再使用可能品を分別、修理し、抽選販売を年2回実施)
- サ 子ども会、PTA等による集団回収事業の支援(奨励金交付)
- シ 生ごみ処理器設置補助金を交付し、生ごみのたい肥化等資源化の支援

2 ごみの種類別収集計画

区 分		平成 29 年度				備考
		計 画		実 績		
		収集方式	収集回数	収集方式	収集回数	
燃やすごみ		ステーション	週 1 回	ステーション	週 1 回	有料
生ごみ		ステーション	週 2 回	ステーション	週 2 回	有料
燃やさないごみ		ステーション	月 2 回	ステーション	月 2 回	有料
粗大ごみ		戸別	随時	戸別	随時	有料
資源物	びん・缶・ペットボトル	ステーション	週 1 回	ステーション	週 1 回	無料
	プラスチック容器包装材	ステーション	週 1 回	ステーション	週 1 回	無料
	新聞、雑誌・チラシ、段ボール	ステーション	月 2 回	ステーション	月 2 回	無料
	枝葉・草	ステーション	週 1 回 or 月 2 回	ステーション	週 1 回 or 月 2 回	無料
	古着・古布	ステーション	月 2 回	ステーション	月 2 回	無料
有害危険物		ステーション	月 2 回	ステーション	月 2 回	無料